

令和4年度 第2回乗合バス事業者連絡会議

GTFSデータの整備・取組事例について

東京都交通局

都営バスについて

都営バス(乗合)の概要

令和4年4月1日現在

営業キロ	765.1km
系統数	129系統
系統総長	1,073.3km
平均系統長	8.3km
停留所数	1,552か所(ポール数3,827本)
車両数	1,480両 ^{※1}
平均定員	75人 ^{※2}
平均時速	10.6km/h ^{※2}
営業所数	12か所 他支所7か所

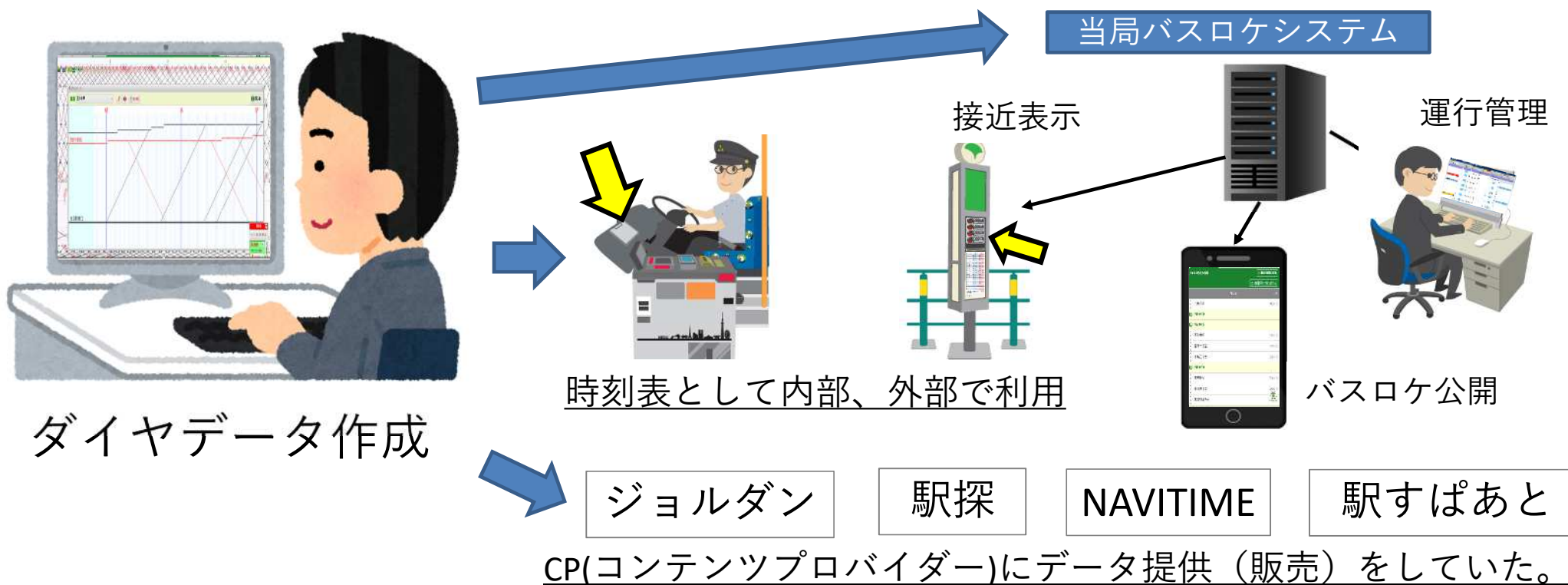
※1 江東区コミュニティバス「しおかぜ」を除く

※2 令和3年度の平均



(注)「管理の委託」とは、道路運送法に基づき、交通局が路線や運行ダイヤ、運賃の決定権を留保したまま、車両、営業所施設等を貸与し、運転業務、運行管理業務、車両整備業務を一体として他の事業者へ委託することです。

GTFS整備前のバスデータ



GTFSデータ整備までの経緯

CP等データ提供先毎に違うフォーマットでの提供を求められていた。



平成29年3月 国交省が「標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)」策定<静的データ>

平成29年5月 「ICT先進都市・東京のあり方懇談会、公共データ活用分科会」において、
「交通局も一事業者として公共交通オープンデータ協議会を通じて、
データを順次提供」する旨の整理。

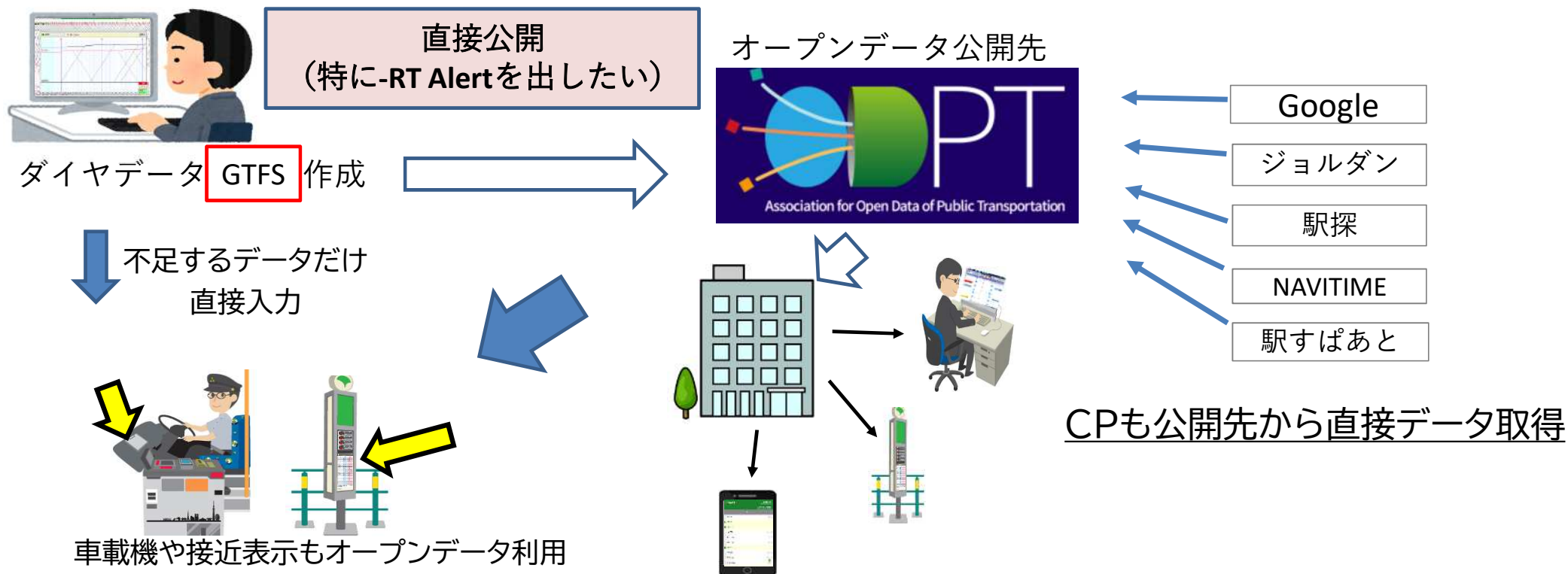
令和1年3月 国交省が「標準的なバス情報フォーマット(GTFS-RT)」策定<動的データ>

令和1年5月 「公共交通オープンデータセンター」を通じて、都営バス、都営地下鉄の情報を
提供開始

GTFS整備後(現時点)のバスデータ



GTFS提供後(今後)のバスデータ



GTFS公開後の懸念点

「データのひとり歩き」

オープンデータを利用して、様々なアプリやコンテンツが作成された場合に、その中に間違いや古いデータが入っていた場合にどうするか。

⇒少なくとも公開データはしっかり検証する必要がある。また、公開データだけではお客様は読み取れないことから、オフィシャルなコンテンツを用意する必要があるか。

「系統上の最後の1区間」

バス事業者でダイヤ作成の際に、終点手前の最後の1区間に、時間調整のための余裕時間を設定している場合が多い。

この時間を加味して、乗換案内などでは「終点の1つ手前で降りて徒歩で終点まで向かう」などの案内がなされる場合がある。



ご清聴 ありがとうございます。